

G 公平委員会の業務の状況

① 勤務条件に関する措置の要求の状況

平成26年度においては、前年度からの繰り越しを含めた措置の要求はありませんでした。

※職員は給与、勤務時間その他の勤務条件に関し、市の当局から適当な措置が取られるように公平委員会に対して要求ができます

② 不利益処分に関する不服申し立ての状況

平成26年度においては、前年度からの繰り越しを含めた不服申し立てはありませんでした。

※職員は懲戒その他その意に反する不利益な処分に関し、公平委員会に不服の申し立てができます

H 給与の状況

市職員の給与・主な諸手当の支給状況、期末・勤勉手当の支給割合などをお知らせします。

① 職員給与の支給状況

職員給与は、職員に支給される毎月の給料と、扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当などの諸手当、民間企業の賞与にあたる期末・勤勉手当などを合わせたものです。

(平成26年度一般会計決算)

職員種類	一般職	再任用	合計	
職員数(人) A	1,088	107	1,195	
給与額(千円)	給料	3,932,925	202,576	4,135,501
	諸手当	916,963	12,845	929,808
	期末・勤勉手当	1,437,505	38,176	1,475,681
	計 B	6,287,393	253,597	6,540,990
1人当たり給与年額(千円) B/A	5,779	2,370	5,474	

※特別職は含まない

※諸手当には退職手当を含まない

② 一般行政職の初任給と経験年数・学歴別平均給料月額

職員の初任給は、民間企業の水準を考慮して決められている国家公務員の初任給を参考に定められています。経験年数・学歴別の平均給料は下表のとおりです。

(平成27年4月1日現在)

区別	経験年数	初任給(円)	10年以上	15年以上	20年以上
			15年未満(円)	20年未満(円)	25年未満(円)
大学卒	苫小牧市職員	174,200	277,200	329,400	375,700
	国家公務員	総合職(Ⅰ種)	289,476	336,582	379,817
		一般職(Ⅱ種)			
高校卒	苫小牧市職員	142,100	235,700	284,500	331,600
	国家公務員	142,100	238,035	288,557	330,001

※国家公務員(大学卒)の経験年数別給料月額は総合職と一般職の平均

D 研修および勤務成績の評定の状況

平成26年度の実施状況は次のとおりです。

① 研修の状況

(平成26年度)

区分		受講者数(人)	内容	
職場外研修	集合研修	基本研修	392	新採用基礎・継続、一般職員Ⅰ～Ⅲ、監督者Ⅰ～Ⅱ、新任管理職など
		特別研修	835	情報セキュリティ、普通救命講習など時宜にかなった研修、専門・実務的知識の取得など
	派遣研修	研修専門機関研修	26	市町村職員中央研修所、全国建設研修センター、北海道市町村職員研修センターなど
		その他	3	国内都市派遣
職場研修	集合研修		—	77職場 478件(各職場内で企画実施)
	派遣研修		613	59職場(道庁、胆振総合振興局など)
	自主研修		64	通信教育、自主研究グループ

② 勤務成績の評定の状況

平成26年度においては、年1回(1月)、職級昇任(現在の級よりも上位の級に任命すること)の対象者に対し、上司による評価を行いました。また、管理職を対象として、人事評価を実施しました。

E 分限および懲戒の状況

平成26年度の分限および懲戒の状況は次のとおりです。

(平成26年度)

区分		人数(人)
分限処分者数	降給	0
	降任	0
	休職	16
	免職	0
	計	16
懲戒処分者数	戒告	9
	減給	2
	停職	0
	免職	0
	計	11

F 福祉および利益の保護の状況

① 厚生制度

職員住宅の貸付け、保健室・休養室・休憩室の設置、健康診断の実施、作業服などの貸与をしています。また、全職員加入の苫小牧市役所職員福利厚生会(会員数1,521人)では、メンタルヘルス、健康教室などのセミナー開催、人間ドックなどの健診助成、保養所利用助成、港まつりへの参加などを行っています。

② 共済制度

職員とその家族の病気などによる健康保険、退職後の年金給付、住宅資金などの貸付けを行っています。

③ 災害補償制度

職員が公務上で災害を被った場合の補償を行っています。(平成26年度の公務上の災害件数=公務災害9件、通勤災害1件)